

令和4年度

第2回総会資料



とき 令和5年3月24日(金)
ところ ホテルハイマート

公益社団法人 上越観光コンベンション協会

令和4年度 第2回総会 次第

日 時 令和5年3月24日（金）午後4時～
会 場 ホテルハイマート

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

第1号議案 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

第2号議案 役員を選任（補充選任）について

4 報告事項

- (1) 新規会員の加入について
- (2) 越後田舎体験推進事業について
- (3) 協会事務所の移転について
- (4) 誘客宣伝事業について

5 その他

6 閉 会

第 1 号 議 案

令和 5 年度 事業計画（案）について

新型コロナウイルス感染症の拡大は、観光業界、地域経済に大きな影響を及ぼしました。感染拡大の落ち着きから、観光需要の落ち込みは改善の動きがみられるようになったものの、一方では、エネルギーや原材料等の物価高騰などによる新たな問題も生じています。

依然として厳しい状況ではありますが、新年度においても、会員の皆さんを始め、行政、経済団体、関係機関等と有機的な連携を図りながら、観光振興とコンベンション事業誘致の取組を通じた経済波及効果と地域振興を目指します。あわせて、コロナ感染症で落ち込んだまちの賑わいを取り戻していく事業を積極的に推進してまいります。

観光振興に向けた取組では、観光案内所等の管理運営業務を市から受託し、確実に丁寧な業務を行いながら来訪者へのサービス提供に努めます。また、観桜会を始め、観蓮会、上越まつり、レルヒ祭など四季折々に開催するイベントの運営や支援を通じて、当市の魅力を発信してまいります。

3年を超えるコロナ感染症の経験は、人々の観光に対する意識や価値観に変化をもたらすものとなりました。これらに対応するため、市とも連携し様々な視点からのデータの収集と分析を通じて観光客のニーズを顕在化させ、新たな考え方や手法を取り入れた事業を展開してまいります。

当市は、歴史、文化、自然、食など豊富な観光資源を有しています。こうした情報をホームページやSNSなども活用して発信することはもとより、何度も当市を訪れるリピーターと熱烈な上越ファンの獲得を目指し、情報内容や発信方法の工夫を行いながら、積極的な情報発信に努めてまいります。

誘客に向けた旅行会社等への営業は、コロナ禍においてはオンラインを余儀なくされていましたが、新年度は、対面営業を中心に積極的に活動してまいります。来春には、北陸新幹線の敦賀延伸が予定されています。これも視野に入れ、関西圏、中京圏などへの営業も強化します。

越後上越上杉おもてなし武将隊事業では、春日山城跡における観光客のおもてなし事業を始め、市内外での観光PR、SNSを活用した情報発信、全国のゆかりの武将隊等との交流・連携事業、オリジナルグッズ販売などに取り組みながら、上杉謙信公のふるさと上越市を大々的に発信してまいります。

「訪れた地域のことをもっと知りたい。」こうしたニーズはますます高まっています。来訪者の更なる満足度向上を目指し、観光ガイドの育成と派遣を継続して行います。

着地型旅行商品の造成と販売では、訪れる皆さんから当市での旅を堪能していただけるよう、体験観光の充実に取り組みます。市や当協会が実施している体験事業のブラッ

シユアッぷを始め、市内の団体や企業などが実施する体験事業の把握や協力態勢の構築、さらには、新たな観光ニーズに対応するメニューの創出を行いながら、当市ならではの体験事業の充実を図ります。あわせて、これらの体験事業を観光商品として提供していく仕組みや販売方法等についての検討に取り組みます。

新年度は新たに、越後田舎体験推進事業の事務局を市から受託します。関係する皆さんとともに、受入態勢の整備や体験内容の拡充を図りながら、教育旅行を中心とした受入れを進めてまいります。

旅行商品造成促進事業では、補助金枠を拡大して引き続き実施し、市内への立寄りや宿泊の増加を目指します。

広域観光ネットワークの推進では、新潟県、糸魚川市、妙高市との連携事業や市の姉妹都市・友好都市との交流を進めます。また、県内近傍都市や長野、群馬、富山などとの連携をさらに強化し、積極的な誘客に取り組みます。

このほか、国、県、市などが行う補助制度等を積極的に活用した事業に引き続き取り組むとともに、全市的に展開する補助事業では、当協会が地元の受け皿や窓口になるなど、事業者の皆さんが制度を利用しやすい環境づくりに努めてまいります。

コンベンション事業の推進においては、当該感染症の影響で学会や研修、会議などの多くがオンライン開催や中止又は延期となるなど、非常に厳しい状況にありました。一方、スポーツ大会やスポーツ合宿に関しては開催に向けた動きがみられ、コロナ禍前の状況に戻りつつあります。

今後も、セールスターゲットの明確化による営業の強化やユニークベニューの開発などを進めながら、積極的な誘致を進めてまいります。

分けても、謙信公武道館やジムリーナなどの専門的かつ充実した機能を有する施設と高速道路や新幹線といった高速交通体系の利便性などの当地域の優位性を大きな武器として、スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致を中心に、当該施設を始め、行政、教育機関、スポーツ関係団体、観光事業者、さらには経済団体との連携を図りながら、積極的な取組を進めてまいります。

当協会の目的及び実施事業にご賛同いただき、会員として参画いただいている皆さんへのサービスを拡充します。

国、県、市、観光関係機関等の制度や動向などの内容を会員に適時、的確に情報提供するとともに、希望される会員の情報を当協会のホームページやチラシなどを通じて広く紹介します。

また、出店機会の拡充や複数の会員が実施する観光事業の支援などにも努めます。このほかにも、越後上越上杉おもてなし武将隊SNSによる会員企業（店舗）の紹介、同武将隊キャラクターの無償使用、観光パンフレットの無償提供なども引き続き行ってまいります。これにとどまらず、今後もより一層のサービス提供を心掛けながら、皆さんから必要とされる協会を目指し着実に運営してまいります。

実施事業

※【新】：新規事業

※【充】：拡充事業

※〔継〕：継続事業

※（ ）内の数字は予算額。単位は千円

I 観光振興事業

観光施設の管理運営 市施設の管理運営〔受託事業〕

〔継〕【新】観光施設等

- ・ 直江津屋台会館 (1, 241)
- ・ たにはま海水浴場及びなおえつ海水浴場 (12, 511)

〔継〕観光案内所

- ・ 上越妙高駅、高田駅前、直江津駅前 (12, 446)

観光イベントの実施及び支援

〔継〕高田城址公園観桜会 (106, 702) ※R6年3月分の費用を含む

〔継〕上越の観光と物産展

- ・ 観桜会、謙信公祭、直江津屋台会館及び静岡市で開催

〔継〕上越まつり <同まつり委員会事務局>

〔継〕高田城址公園観蓮会 <同実行委員会事務局>

〔継〕レルヒ祭 <同実行委員会事務局>



第43回高田城址公園観蓮会ポスター

観光宣伝及び情報収集・発信事業

【充】情報の収集と分析（別途）

- ・ 当市への来訪者の属性や行動特性などの情報収集と分析
- ・ 市が進める観光DX事業と連携した取組の推進

【充】営業活動（908）

- ・ 関東圏、関西圏、近県及び県内を中心に、旅行会社、旅行雑誌社、マスコミ、教育機関、行政、関係団体等へ営業を実施
- ・ 県観光協会や旅行会社などが実施する商談会に参加

商談会（群馬県前橋市）



【充】インターネット、SNSを活用した情報発信（1,710）

- ・ リピーターの増を目指すとともに、城、武将、町家、寺、海、花などをテーマに、マニア受けするコンテンツも充実させて発信

〔継〕広告宣伝（7,282）

- ・ テレビ、ラジオ、新聞、情報紙等を通じた観光宣伝

〔継〕フィルム・コミッション事業（人的支援）

- ・ 市内で行われる映画・TV番組・CM撮影等をワンストップで支援

越後上越 上杉おもてなし武将隊事業（22,680）

〔継〕春日山城跡でのおもてなし事業

- ・ 春日山城跡や「謙信公と春日山城展」で来客のおもてなしと観光PRを実施

〔継〕各種イベントや要請に応じた出陣

- ・ 謙信公祭や観光と物産展などのイベントや観光セールスにおいて当市をPR
- ・ 行政、企業、教育機関、市民等からの要請に応じて派遣

〔継〕SNSを活用した情報発信

- ・ テレビ、雑誌等を活用した市の観光PRに加え、SNSを活用した情報発信
- ・ SNSをツールとした会員企業（店舗）等の紹介とPR

〔継〕自主活動

- ・ 全国の武将隊ファンとの交流事業、他の武将隊等との連携事業
- ・ オリジナルグッズ販売の拡充



武将隊結成記念日イベント

観光ボランティアガイド及び有償ガイド (2, 287)

[継] おもてなし事業

- ・ 旅行会社、行政、教育機関等からの依頼による観光ガイド
- ・ 春日山城跡でのガイド：8月を除く5月から11月までの土曜、日曜、祝日
- ・ 観桜会、観蓮会、謙信公祭等におけるガイドや市内の観光スポットの紹介

[継] ガイドの育成と派遣

- ・ 登録者数 ボランティアガイド：67人（内有償ガイドは27人）

<観光ボランティアガイドの活動の一例>



観桜会事前研修会



観蓮会ガイド

着地型旅行商品の造成と販売 (6, 527)

【充】観光体験メニューの掘り起こしと商品化に向けた検討

- ・ 当協会や他団体などが取り組む体験メニューをHP等で紹介
- ・ 販売システムについても今後検討を進め、仕組みを構築

【新】越後田舎体験推進事業

- ・ 新年度から同事業の事務局を市から受託
- ・ 事務局運営にあわせ、市内における教育旅行の体験メニューの掘り起こしを行う
- ・ 事業実施に向けた関係者との協力関係の構築

[継] マイクロツーリズム「小さな旅」

- ・ 他の実施団体との連携強化の下で事業実施

[継] 観光タクシー

- ・ 上越・妙高ちょこっと観光タクシープラン

広域観光ネットワークの推進

- [継] 新潟県及び上越市、糸魚川市、妙高市との連携（営業活動予算内）
- ・ 行政や関係機関との連携強化の中、周遊コースの販売や営業活動を実施
- 【充】 長野、群馬などとの連携強化（営業活動予算内）
- ・ 各観光協会等との関係性を構築した誘客の推進
- 【充】 近隣地域との連携強化（営業活動予算内）
- ・ 近隣地域とのつながりの強化と相互の誘客策を検討
- [継] 市姉妹都市・友好都市等との交流（上越の観光と物産展予算内）
- ・ 物産展等を通じた観光PRと交流

旅行商品造成促進事業（4,117）

- 【充】 募集型企画旅行の造成促進
- ・ 当市に宿泊又は立寄りで飲食や土産物施設を利用する募集型企画旅行を一定の要件の中で実施する旅行会社に補助金を交付
 - ・ 交付額（バス1台当たり）… 立寄り：2.5万円、宿泊：2.5万円

補助制度を活用した事業実施（別途、人的支援）

- 【充】 国、県、市などの補助制度を活用した事業実施
- ・ 観光事業者を支援する補助事業を積極的に活用
 - ・ 複数の会員企業が連携して取組む補助事業を協会が支援
 - ・ 本年度は、昨年度に引き続き、観光庁の「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」に申請予定
 - ・ このほかの国や県等の補助・支援制度についても、活用を検討

国・県・市の観光事業支援（人的支援）

- [継] 観光業界を支援する国、県、市等のキャンペーンや支援事業において、当協会が地元の受け皿になるなど、関係事業者が制度を利用しやすい環境づくりを進める。

Ⅱ コンベンション事業の推進

コンベンション事業誘致 (971)

【充】セールスターゲットの明確化

- ・ ターゲットのリスト化とセールスの優先順位付け
- ・ JCCBデータベース「会議開催意向調査」を活用した営業活動

〔継〕関係機関との連携強化

- ・ JCCB、国、県、市、教育機関、観光事業者、スポーツ協会・団体、経済団体などとの情報共有と連携強化による具体的な誘致活動

〔継〕ユニークメニューの開発と利用促進

- ・ うみがたり、酒蔵などとの連携

コンベンション事業開催支援 (5,996)

〔継〕コンベンション事業開催補助金の交付

- ・ 事業規模に応じて主催者に補助金を交付

〔継〕ワンストップサービスの提供 (人的支援)

- ・ 事業実施における相談業務や関係先等との調整など

〔継〕主催者へのサポート

- ・ 歓迎看板の作成サービス、観光パンフレットの無償提供
- ・ 開催会場や運営業者、特産品や土産物等の紹介
- ・ 観光ボランティアガイドやおもてなし武将隊の派遣[有償]



東北 MICE 商談会会場



スポーツコンベンション開催時の
歓迎看板の設置

Ⅲ 会員サービス

【充】 会員事業支援 （人的支援）

- ・ イベントや各種大会等の主催者から要望のある飲食ブース等の出店について、当協会が総括窓口となり、主催者等との調整や手続き等を行い会員企業に出店情報を提供。会員企業の出店機会の拡大と手続きの簡素化を進める

〔継〕 情報提供 （観光宣伝事業予算内）

- ・ 上越観光 Navi（HP）内に会員向け情報ページを設け、ウェブ内に会員の情報発信や会員同士の情報共有の場を提供
- ・ 行政や関係機関などからの情報、観光事業に関する制度、協会の動き等をタイムリーにホームページやメール等で提供

〔継〕 講演会、研修会、会員交流会等の開催 （100）

- ・ 観光に関する講演会や研修会を開催
- ・ 先進地視察や市内外の観光関係機関・事業者との情報交換[対象：理事]

〔継〕 越後上越 おもてなし武将隊による情報発信 （武将隊事業予算内）

- ・ SNSをツールとした会員企業（店舗）の紹介とPR
- ・ 武将隊キャラクターデザインの無償提供

Ⅳ 事務局費

〔継〕 地域活性化起業人交流プログラムの活用

- ・ 市と連携し、国の同プログラムを活用して観光関連企業から人材を受入れ、地域資源をいかした旅行商品のプログラム開発やプロモーションの強化、データを活用したマーケティング技術の検討や普及に向けた取組を行う
- ・ R3年7月、(株)阪急交通社から1人受入れ。任期は3年

〔継〕 事務局職員のスキルアップ （随時）

- ・ 旅行業務取扱管理者の資格取得3人
- ・ このほか、各種研修会・講習会・情報交換会に出席し専門性を習得するとともに、関係者とのネットワークを構築する

〔継〕 職員人件費 （43,127）

- ・ 給与手当、社会保険料、福利厚生費[職員9人]
- ・ 派遣職員（2人）は、派遣元が負担

令和5年度 第98回高田城址公園観桜会 開催内容について

1 開催方針

感染防止と経済活動を両立するため、飲食・イベント等の制限を緩和し、市民を始め多くの観光客に高田の桜を楽しんでいただく。

2 会期

令和5年3月29日（水）～4月12日（水）15日間

※桜の開花状況により、前倒し又は延長を行う。

3 実施内容

○：実施 ×：中止

区分	内容	97回	98回
ライトアップ	ボンボリの点灯	○	○
	高田城三重櫓	○	○
	さくらロード	○	○
臨時駐車場	臨時駐車場の開設	○	○
シャトルバス	シャトルバスの運行	○	○
露店・物産展	露店・物産展	○	○
イベント	ボンボリ点灯（アナウンスのみ）・花火打上げ	○	○
	自衛隊パレード・神事等	×	○
宴会	会場内（芝生広場等）での飲食・飲酒	×	○

(1) 飲食・飲酒

- ・会場内での飲食・飲酒を可能に。ただし、食べ・飲み歩きは禁止
- ・コロナ対策：看板やアナウンスで基本的な感染症対策の協力を依頼

(2) 臨時有料駐車場（関川中央橋河川敷、上越南消防署）

【駐車料金について】

観桜会運営に係る経費増に伴い、来場者への応分負担を求めるとし、今回から駐車場料金を改定する。

区分	第98回	前回まで
自家用車	1,000円	500円
バス	4,000円	3,000円

(3) シャトルバス

- ・発着場は、高田図書館駐車場とし、5ルートで運行（運行時間：10:00～21:00）
 - ① 関川中央橋 ②高田駅 ③上越モール ④上越総合運動公園 ⑤上越高田 I C
- ・桜開花宣言後に運行を開始。桜散り果て後は運行を行わない。

(4) 露店・物産展

- ・露店 55店舗の見込み（昨年度40店舗）
出店者を新潟県内に居住しているものに限定（昨年度は上越地域に限定）
- ・物産販売店 23店舗の見込み（昨年度18店舗）

(5) 主な行事

実施日	イベント名	開始時間	場所
3/29 (水)	お城稲荷神社・弁天社祭礼	16:00	お城稲荷神社、弁天社
	オープニング花火	18:30	高田城址公園
4/1 (土)	陸上自衛隊高田駐屯地「自衛隊パレード」	10:30	高田城址公園
	上越市立水族博物館うみがたり活魚車展示	11:00	高田図書館ロータリー入口
4/2 (日)	第98回高田城址公園観桜会記念 第76回観桜会モデル撮影会	9:00	高田城址公園
	高田仏教会 花まつり法要・奉賛稚児行列	14:30	高田城址公園
4/8 (土)	うみがたり活魚車展示	11:00	高田図書館ロータリー入口
	高田本町春フェスタ パンまつり	11:00、14:00	本町3.4.5丁目商店街
	高田夜サクラミクライブ!	18:30	本町3丁目雁木通りプラザ広場
	「あの頃青春グラフィティ」デリグラ	13:00	あすとぴあ高田5階 ミュゼ雪小町
4/9 (日)	高田城址公園観桜会×小林古径記念美術館特別鑑賞プラン①	10:00	小林古径邸

令和5年度 収支予算書 (案)

令和5年4月1日～令和6年3月31日

経常収益

単位：千円

科目	令和5年度 当初予算 (A)	令和4年度 当初予算 (B)	(A) - (B) 増減	公益1 (観光振興)	公益2 (コンベンション)	収益1 (物産)	法人会計	備考 (主な増減理由)
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
会費	4,440	4,440	0				4,440	会費は、1会員につき年額12千円とする
賛助会費	2,705	2,669	36				2,705	
補助金	115,898	158,850	△ 42,952	107,103	6,265	1,265	1,265	
協会運営費補助金	43,247	38,873	4,374	34,452	6,265	1,265	1,265	市職員派遣の人員費、広告宣伝費等の増
観桜会事業補助金	71,651	71,808	△ 157	71,651	0	0	0	
その他補助金	0	46,769	△ 46,769	0	0	0	0	市宿泊割引キャンペーン事業の終了による減
地域観光事業助成金	1,000	1,000	0	1,000	0	0	0	
その他助成金	0	400	△ 400	0	0	0	0	
委託金	99,354	96,767	2,587	77,549	0	21,805	0	
観光物産宣伝推進業務委託	21,805	17,996	3,809	0	0	21,805	0	
上越観光物産センター清掃・受付案内等業務委託	0	8,381	△ 8,381	0	0	0	0	物産センター管理業務終了による減
直江津屋台台館管理業務委託	1,570	0	1,570	1,570	0	0	0	直江津屋台台館管理業務受託による増
なおえつ・たにはま海水浴場管理業務委託	15,065	15,657	△ 592	15,065	0	0	0	
上越妙高駅案内所管理運営業務・高田・直江津観光案内所運営業務委託	15,024	14,720	304	15,024	0	0	0	
移動露店市場管理業務委託	11,082	10,821	261	11,082	0	0	0	
観光客おもてなし武将隊事業委託	27,394	25,817	1,577	27,394	0	0	0	
田舎体験料金収受等業務委託	6,979	0	6,979	6,979	0	0	0	越後田舎体験推進事業受託による増
高田まちなか回遊マップ作成業務委託	435	0	435	435	0	0	0	
二市連携(上越市、妙高市、振興局)	0	3,375	△ 3,375	0	0	0	0	Jam旅作製業務受託終了による減
受取負担金	12,733	14,384	△ 1,651	12,133	0	0	600	
新潟県観光協会会費負担金	1,813	1,814	△ 1	1,813	0	0	0	
懇親会会費負担金	744	720	24	144	0	0	600	
観桜会駐車場	10,103	11,050	△ 947	10,103	0	0	0	
その他負担金	73	800	△ 727	73	0	0	0	
事業収入	25,460	27,202	△ 1,742	24,460	0	1,000	0	
販売収入(旅行商品、お花見弁当、駅陳列棚)	397	728	△ 331	397	0	0	0	
ボランティア・ガイド手数料	480	528	△ 48	480	0	0	0	
武将隊出陣手数料等、グッズ売り上げ	2,300	1,400	900	1,300	0	1,000	0	
観桜会事業(バス等)	22,202	24,476	△ 2,274	22,202	0	0	0	観桜会バス運行見直し等に伴う減
預金利息等	1	4	△ 3	1	0	0	0	
雑収入	80	66	14	80	0	0	0	
経常収益計	260,590	304,312	△ 43,722	221,245	6,265	24,070	9,010	

経常費用

単位:千円

科目	令和5年度 当初予算 (A)	令和4年度 当初予算 (B)	(A) - (B) 増減	公益1 (観光振興)	公益2 (コンベンション)	収益1 (物産)	法人会計	備考 (主な増減理由)
総務費								
①給与手当	35,401	29,746	5,655	30,671	1,023	1,854	1,853	田舎体験推進事業受託による職員増
②社会保険料	10,000	8,588	1,412	9,048	206	373	373	
③賃金	33,196	36,999	△ 3,803	33,086	0	110	0	物産センター管理業務終了に伴う減
④福利厚生費	1,721	1,801	△ 80	1,721	0	0	0	
⑤報償費	2,170	2,078	92	1,685	25	460	0	
⑥旅費交通費	3,925	3,005	920	2,794	720	411	0	
⑦交際費	50	100	△ 50	50	0	0	0	
⑧消耗品費	2,061	1,485	576	1,758	0	273	30	
⑨燃料費	748	713	35	595	0	153	0	
⑩食料費	997	1,231	△ 234	203	0	8	786	
⑪印刷製本費	2,689	4,071	△ 1,382	2,424	0	80	185	Jam旅作製業務受託終了に伴う減
⑫水道光熱費	929	21	908	696	0	233	0	
⑬武将隊グッズ等仕入れ	622	263	359	0	0	622	0	
⑭修繕料	470	504	△ 34	470	0	0	0	
⑮通信運搬費	2,519	2,368	151	1,517	0	780	222	
⑯広告料	7,598	7,400	198	7,392	0	206	0	
⑰減価償却費	269	352	△ 83	269	0	0	0	
⑱手数料	2,169	2,120	49	1,202	0	20	947	
⑲保険料	1,928	1,536	392	1,642	0	116	170	
⑳委託料	53,738	59,003	△ 5,265	49,598	401	3,739	0	物産センター管理業務及びJam旅作製業務受託終了に伴う減
㉑使用料及び賃借料	31,186	35,730	△ 4,544	24,805	0	4,524	1,857	市宿泊割引キャンペーン事業の終了及び観桜会バスの運行見直しに伴う減
㉒工事請負費	49,646	45,754	3,892	43,887	0	5,759	0	観桜会工事費用の増
㉓負担金	4,358	5,852	△ 1,494	4,119	221	0	18	
㉔補助金	8,700	51,560	△ 42,860	4,500	4,200	0	0	市宿泊割引キャンペーン事業の終了に伴う減
㉕支払消費税等	3,500	3,898	△ 398	3,481	0	16	3	
経常費用計	260,590	306,178	△ 45,588	227,613	6,796	19,737	6,444	
当期経常増減額	0	△ 1,866	1,866	△ 6,368	△ 531	4,333	2,566	
2 経常外増減の部								
当期経常外増減額	0	0						
経常外収益計	0	0						
経常外費用計	1,800	0						事務所移転に伴う費用を計上
当期一般正味財産増減額	0	△ 1,866						
一般正味財産期首残高	41,638	43,504						
一般正味財産期末残高	39,838	41,638						
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0						
指定正味財産期首残高	0	0						
指定正味財産期末残高	0	0						
III 正味財産期末残高	39,838	41,638						

科目間流用ができるものとする

※正味財産の過去9年間の推移

年度	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2	令和3
正味財産期末残高	45,260	38,399	44,747	41,287	45,303	44,139	40,292	50,684	43,504

(単位:千円)

役員を選任（補充選任）について

所属団体において役員交代があったことに伴い、次のとおり選任する。

(敬称略)

役職名	所 属	現	新
理事	株式会社 岩の原葡萄園	前代表取締役社長 神田 和明	代表取締役社長 遠藤 正義

【参考】

「公益社団法人 上越観光コンベンション協会定款」より抜粋

第 4 章 総会

(権限)

第 12 条 総会は次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬等の額
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又は定款で定められた事項

(役員を選任)

第 23 条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

(役員任期)

第 26 条 理事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の終了する時までとする。

報 告 事 項

1 新規会員の加入について

公益社団法人上越観光コンベンション協会に入会の申込があり、理事会で承認された新規会員は次のとおりです。

(敬称略)

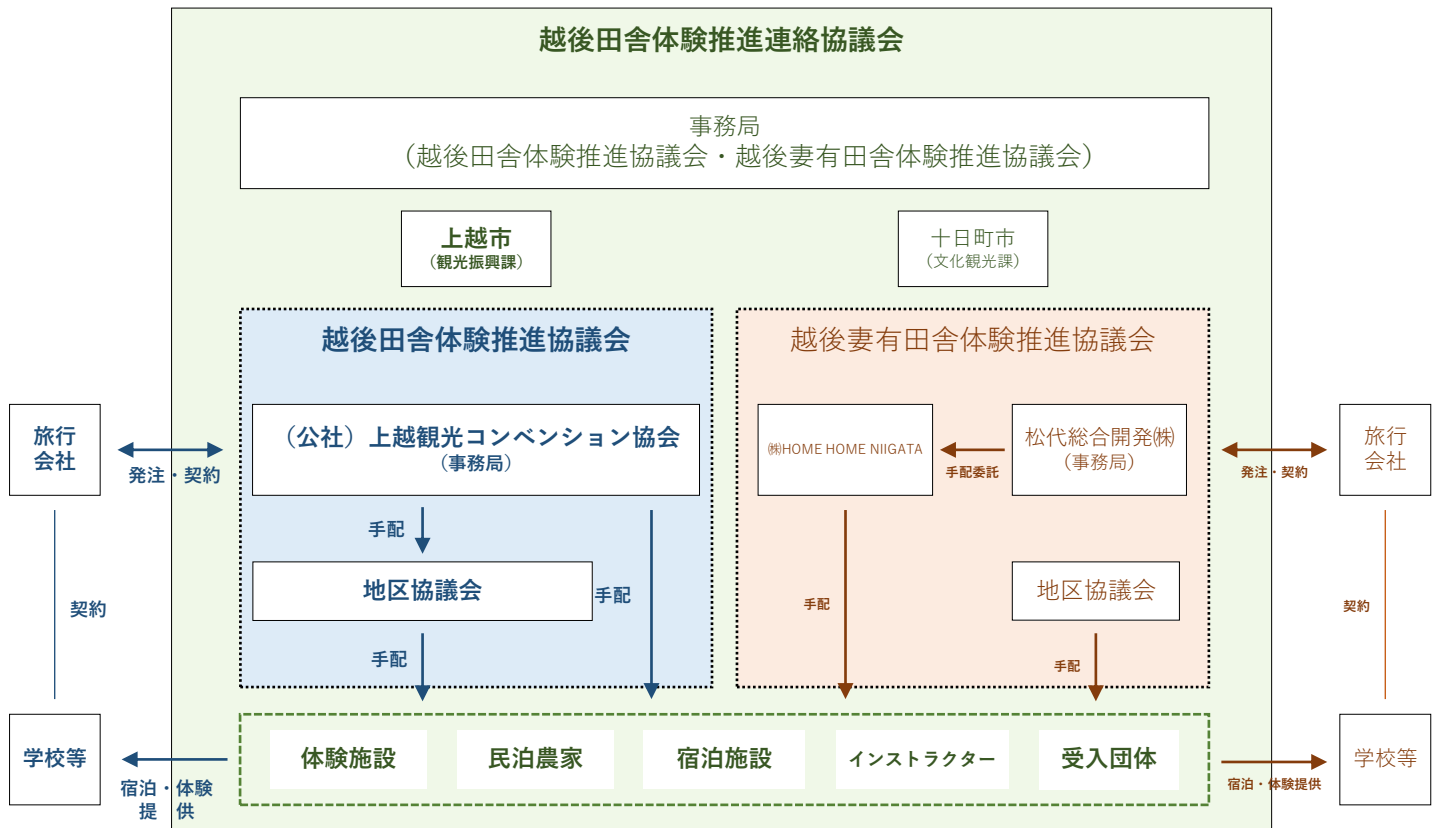
加入申込日		事業所名	住 所	業 種
令和4年	11月8日	株式会社 パワーマネージメント	上越市新光町1-88	広告
	12月13日	マルナカ食品	上越市稲田4-9-27 ティザンヌ202	飲食
令和5年	1月10日	食堂酒場 酉かつ	上越市大和5-1-5 フルサット内	飲食
	1月25日	Burger Cafe & Grill PICCOLO	上越市本町5-3-22 ニシワキビル1F	飲食
	2月15日	株式会社 関原工業所	上越市南本町2-8-39	管工事

2 越後田舎体験事業について

上越市の豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしをいかした体験型観光を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

田舎体験実績

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (見込み)
団体数	43	40	15	35	40
人数	3,966	3,273	1,004	2,576	2,813
宿泊数	8,020	6,528	339	1,566	3,518



3 公益社団法人 上越観光コンベンション協会 事務所の移転について

上越観光物産センターが令和4年度をもって休館になるため、令和5年度から当協会は直江津屋台会館に事務所を移転します。あわせて、会館の管理業務を受託します。

ただし、移転の時期が観桜会期間と重なるため、全ての事務所機能の移転は4月下旬を見込んでいます。

現住所	上越市藤野新田 175-1	上越観光物産センター
-----	---------------	------------



移転先住所	上越市西本町 4 丁目 18 番 12 号	直江津屋台会館
-------	-----------------------	---------

※電話番号、FAX 番号及びメールアドレスは変更ありません。

電話	025-(543)-2777
FAX	025-(545)-1113
Mail	jtca@joetsu.ne.jp



4 誘客宣伝課 報告事項

作成：誘客宣伝課 課長上羽

■観光庁「看板商品の創出事業」について

○本年度、観光庁の補助事業に採択され、実施した新規事業。

事業名	地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業
事業目的と概要	上越市は交通アクセスの利便性が高い反面、目的地への通過点となっている問題点に着眼し当事業での看板商品を活用し、滞在時間増と消費額拡大を図る
事業実施内容と実績	<ul style="list-style-type: none">・旅行会社やメディア関係者 16 名による 1 泊 2 日の上越市内視察を行った 結果として、8 拠点からツアー造成希望の問い合わせがあった。・旅行商品の広告宣伝 新潟日報、日経新聞朝刊（東京）、新聞折込広告、阪急交通社会員誌、ダイレクトメール、メールマガジン配信などを実施・観光ナビに専用ホームページ開設・高田小町・瞽女ミュージアム高田・旧今井染物屋などの観光案内ガイドやアプリなど DX コンテンツの造成・メイドイン上越を中心とした通信販売など
今後の実施項目	<p>ホームページにおいては体験コンテンツを造成して販売できるような仕組み作りを行う。</p> <p>DX コンテンツに関しては、インバウンドや個人客へ繋げていく仕組み作りをしていく。</p> <p>旅行商品に関しては各社へ誘致活動をおこなっていく。</p>

■2022 年度 JCCB 第 1 回コンベンション・ビューロー部会

○2022 年度 JCCB 第 1 回コンベンション・ビューロー部会が 10 月 20・21 日に上越で開催された。

受入れ開催地として当協会が担当となり、開会時の開催地挨拶など山田会長が務めた。北は旭川・南は沖縄など全国のビューロー部会員、都道府県、日本政府観光局、観光庁参事官など 84 人が集合し、会議・分科会「コンベンション・ビューローの未来シナリオについて」・懇親会・市内視察を行った。

会議では「海外からの水際対策が緩和され、MICE の競争が激化していく」・「各ビューローが単体で行うのではなく、各ビューロー同志で連携することが大事」・「コロナ後のインバウンドは、持続可能な観光・地域貢献になっているのかを考える必要がある」などの意見が出た。分科会では「オンラインでの開催もあるが、リアル開催を望む主催者が増えてきた」・「地元の民間企業や近隣の自治体との連携が不可欠である」などの意見が出ており、上越としても、糸魚川や妙高などの連携・地元企業を巻き込んだ開催や MICE 誘致活動なども進めていきたい。

■旅行商品造成補助金

メインターゲットである関西方面の大阪を中心に営業活動を行った。更にその沿線上の中四国（広島・岡山）の旅行会社 3 営業所からの新規申請を獲得できた。近県の富山・金沢や長野からの旅行商品造成が少なく、課題となっているので、補助金活用を案内しながら営業活動に注力していきたい。

また、北陸新幹線敦賀延伸に向けて、福井、岐阜及び神戸や京都など大阪周辺地域にも働きかけていく。旅行会社の動きとしては、例年よりも販売時期がどんどん早まってきているので、今まで以上に早い情報提供を望む声が挙がっている。また、コロナの影響で団体対応が可能な飲食店が減っているため、情報が欲しいとの声が増えてきている。

<営業活動 実績>

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
商談会参加	5 件	2 件	7 件	10 件
独自営業等	2 件	10 件	2 件	10 件
合 計	7 件	12 件	9 件	20 件

<旅行商品造成促進事業補助金 実績>

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
補助金件数	21 件	9 件	23 件	36 件
バス台数	74 台	31 台	67 台	92 台
補助金金額	1,480 千円	620 千円	1,725 千円	3,025 千円

■コンベンション・スポーツ合宿補助金について

○コンベンション開催補助金

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、直前キャンセルが3~4件程度発生した事を考えると、ほぼコロナ禍の前に近い状況となった。

リピートも増えているので、継続した営業活動を行い、また、スポーツ大会が中心になっているので、令和5年度は学会や会議の誘致に向けた営業活動にも取り組んでいく。

<コンベンション開催補助金 実績>

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (見込み)
補助金件数	9件	2件	3件	11件
参加人数	7,008人	1,097人	1,340人	5,276人
補助金金額	3,142千円	400千円	700千円	3,600千円

○スポーツ合宿補助金

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、夏の合宿において2件/76人/288千円のキャンセルが発生し、実績が伸びなかった。

補助金制度が認知不足のため、コンベンション開催補助金を活用している団体にも誘致PRをするとともに、事前合宿も併せて誘致していく。

<スポーツ合宿開催補助金 実績> ※令和2年度より開始

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
補助金件数	0件	3件	4件
参加人数	0人	102人	110人
補助金金額	0千円	333千円	388千円